



C 19

玉蜀黍適良品種送定予備試驗成績

1962

九州地区
指導農場

玉蜀黍適良品種送定予備試驗成績
一九六二

玉蜀黍適良品種送定予備試驗成績
(1962)

LIBRARY

国際協力事業団		
受入 月日	'84. 8. 21	708
登録No.	13385	84.1
		EM

回引回覽

玉蜀黍適良品種選定予備試驗
成績
(1962)

JICA LIBRARY

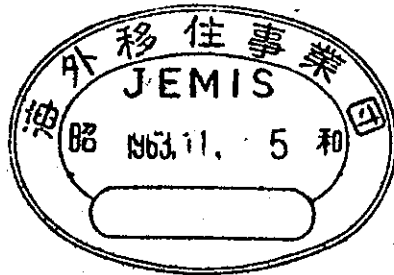


1034676[5]

海外移住事業団

伊予地区指導農協

1963. Sept



調査課

玉蜀黍適良品種選定予備試驗成績
(1962)

玉蜀黍適良品種選定予備試験成績

I 目的 玉蜀黍は当地区の主要短期作物であり、其の主要品種は *flint* (かたつば) 種の *Venezuela* である。同種より以上の適良品種を見出そうとするものである。

II. 試験方法

1. 供試品種

品種	取寄先	生産年
(1) <i>Cicarigua V-1</i>	STICA	1961
(2) <i>Cicarigua V-3</i>	"	"
(3) <i>Pisangallos</i>	"	"
(4) <i>Blanco harinoso</i>	"	"
(5) <i>V-1. S-7</i>	"	"
(6) <i>Venezuela</i>	"	"
(7) 在来番川	日本	"
(8) 長交 202号	"	"
(9) <i>Yellow dent</i>	"	"

2. 1区面積及び区制

0.315 a (畦巾 1.5 m, 畦長 12 m - 3 畦) 2 区制

3. 耕種概要

- (1) 畦巾、株間
1.5 m × 0.7 m
- (2) 播種期
9月24 ~ 25日 (1962)
- (3) 中耕除草
10月28日 1回
- (4) 田引其の他作業
田引きを1回行い1株2~3本並とし、又芽かきを行つ

て分けつを防いだ。

Ⅲ 試験成績及び考察

本試験の播種は9月24～25日である。当時は降雨が多く概して発芽は良好であつた。但し日本品種の種子は収穫後1ヶ年と高温下に貯蔵されていた爲か発芽は良好でなかつた。発芽後10月中旬頃まで降雨思惟生育は順調であつた。10月下旬から1月中旬までは高温暴雨で土壤はかなり乾燥した。特に11月下旬から1月中旬までは半旬最高平均気温が35℃を越え、降水量は12月第1半旬の125mmの外は見るとは思はれなく乾燥は著しかつた。

一本立試験区の雄穂の萌花は早生である日本品種の12月10日前後から起り引続き他品種に及んだので花粉の高温障害によると思われるが不稔雄花が多量に認められた。また雌穂の分化過程に於いても乾燥に出会つたと思われ雌穂花房は珠軸の発育が悪く單に苞葉のみ発育している株もあつた。特に *Blanca herinosa* に多く見られた。

雌穂の成熟後は当地の慣行により、茎を折り曲げそのまま畑に放置しておき、4月10日収穫調査した。

調査に供した個体は前区の各区より20株を選定した。

その結果は第1表のようである。即ち、1株の個体数は大体2～3本であり、その内着穂個体は2個体前後である。

茎長に於いては着穂個体の方が無着穂個体より高く、2.5m以上の大きい品種は *Cicarigua 7-1*、及び *T-15-7* であり、谷川在来、*Picingallos*、長交202号等は2.0m以下で低い。

1株当りの穂数は *Picingallos* が最も多く、4穂を数へ多くの品種は2～2.5穂となつている。又有穂個体について見ると1個体当り平均着穂数は *Picingallos* が最も多く平均1.7、次いで *Cicarigua 7-1* の1.5、その他は大体1穂程度である。

収量である20株当りの穂量と粒量とは各品種とも大体一致しており標準品種である *Venezuela* 以上のものは *Cicarigua 7-1*、*Yellow-Dent con*、谷川在来、長交202号であるが特に長交202号は *Venezuela* の2倍近い。

脱粒の難否を見ると、概して日本種が容易である。又圃場の本調査を行ったとき既に穀象虫が寄生しており、その多少は種子貯蔵中に於ける害虫被害程度と並行するものと思われるが、この圃場に於ける害虫は *Blanca herinosa*、*yellow dent con*、長交202号に多く見られ、*Picingallos*、*T-15-7* には極めて少なかつた。

本試験に於いては全般的に生育中期に干バツにあつている。品種の早晚性によつて雌穂穂の分化期及び萌花成熟期が異なるので、被害の生育時期に依る。

干バツの被害は品種によつて異なつていゝと思はれる。

従つて本年の調査成績は必ずしも、品種の能力を正しく表現した。

そのとほ受取り得ない點もある。

この點は更に以年越の試験によつて検討する予定であるが、本年の成績に於いて長交202号は播種及び收穫に優れ、その結果、当地區の代表品種である *Venezuela* に比して2倍に近い収量をあげていることは注目に値するものと思われる。

尚長交202号の粒質は粉質に近いのであるが、当地方の主要品種である硬質の *Venezuela* と同様、市場性に留んでいるか否かも調査を要する。

第 1 表

王蜀黍品種の生育及び収量並に特性調査成績 1962

品 種	区 別	1 Role (株) 省個体数			莖 長 (m)			20 Role (株) 当		10a 当粒重		着莖 個体	平均 穂数	一穂 重 (g)	穂 長 (cm)	不 稔 粒 多 少	脱 粒 難 易	圃 場 収 量 の 多 少
		有穂	無穂	個体総数	有穂	無穂	平均	穂数	穂重 (g)	粒重 (kg)	収比							
Cicarigua V-1	a	1.4	0.1	1.5	3.0	2.0	2.8	51	5.45	4.00	272	1.85	107	16				
	b	2.6	0.2	2.8	2.6	2.3	2.6	52	4.90	3.30	183	1.15	94	14				
	平均	2.0	0.1	2.1	2.8	2.1	2.7	51	5.17	3.65	203	1.50	100	15	中	稍易	少	
Blanca Barinosa	a	1.4	1.5	2.9	2.3	1.9	2.1	30	1.65	1.15	64	1.07	55	18				
	b	1.6	1.4	3.0	2.4	2.2	2.3	35	1.90	1.15	64	1.18	49	19				
	平均	1.5	1.4	2.9	2.3	2.0	2.2	32	1.77	1.15	64	1.12	52	18	稍多	中	多	
Yellow dent com	a	1.9	0.1	2.0	2.2	1.2	2.2	42	5.80	4.50	250	1.15	138	18				
	b	1.7	0.2	1.9	2.2	1.7	2.1	39	4.00	2.70	150	1.13	103	17				
	平均	1.8	0.1	1.9	2.2	1.4	2.1	40	4.90	3.60	200	1.17	120	17	少	易	多	
香川在系	a	1.7	0.2	1.9	1.7	1.3	1.6	37	3.80	3.40	187	1.07	103	15				
	b	1.8	0.7	2.7	1.9	1.3	1.9	36	4.00	3.10	172	1.20	111	15				
	平均	1.7	0.5	2.3	1.8	1.3	1.6	36	3.90	3.25	181	1.15	107	15	少	易	少	
Cicarigua V-3	a	2.0	1.0	3.1	2.3	2.3	2.3	47	3.40	2.50	159	1.09	112	13				
	b	2.0	0.6	2.6	2.2	2.2	2.2	39	2.60	1.70	94	1.10	67	15				
	平均	2.0	0.8	2.8	2.2	2.2	2.2	43	3.00	2.10	117	1.10	69	14	中	中	少	
Picangallos	a	2.4	0.4	2.8	1.8	1.5	1.8	82	3.75	2.75	153	1.74	46	14				
	b	2.6	0.5	3.0	1.8	1.3	1.7	86	3.80	2.80	156	1.66	44	15				
	平均	2.5	0.4	2.7	1.8	1.4	1.7	84	3.77	2.77	154	1.70	45	14	中	中	無	
T- IS-7	a	2.0	0.2	2.2	2.5	2.5	2.5	54	4.20	3.00	167	1.25	78	15				
	b	1.9	0.6	2.5	2.9	2.5	2.8	42	3.30	2.70	150	1.13	78	16				
	平均	1.9	0.4	2.3	2.7	2.5	2.6	48	3.75	2.85	158	1.24	78	15	稍少	稍難	無	
Venezuela	a	2.4	0.1	2.5	2.8	2.3	2.8	48	4.50	3.20	178	1.14	94	16				
	b	2.2	0.2	2.4	2.0	1.6	2.0	52	4.10	3.00	167	1.21	79	17	中	中	少	
	平均	2.3	0.1	2.4	2.4	1.9	2.4	50	4.30	3.10	172	1.18	86	16				
長交 202	a	2.2	0.2	2.4	2.0	1.7	2.0	51	7.80	6.50	361	1.05	153	16				
	b	2.6	0.2	2.7	1.9	1.8	1.9	55	7.25	6.00	333	1.11	132	16				
	平均	2.4	0.2	2.5	1.9	1.7	1.9	53	7.52	6.25	347	1.08	143	16	少	易	稍多	

調查課

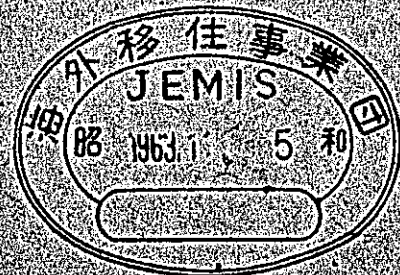
玉蜀黍適良品種選定予備試驗
成績

(1962)

海外移住事業團

伊予地区指導農場

1963. Sept



玉蜀黍適良品種選定予備試験成績

I. 目的 玉蜀黍は当地区の主要短期作物であり、其の主要品種は flint (かたつぶ) 種の Venezuela である。同種より以上の適良品種を見出そうとするものである。

II. 試験方法

1. 供試品種

品種	取寄先	生産年
(1) Cicarigua V-1	STICA	1961
(2) Cicarigua V-3	"	"
(3) Pisingallos	"	"
(4) Blanco harinoso	"	"
(5) V-1. S-7	"	"
(6) Venezuela	"	"
(7) 在来香川	日本	"
(8) 長交 202号	"	"
(9) Yellow dent	"	"

2. 1区面積及び区制

0.315 a (畦巾 1.5 m. 畦長 12 m - 3畦) 2区制

3. 耕種概要

- (1) 畦巾、株間
1.5 m x 0.7 m
- (2) 播種期
9月24 ~ 25日 (1962)
- (3) 中耕除草
10月28日 1回
- (4) 間引その他作業
間引きを1回行い1株2~3本選とし、又芽かき"を行つ

て分けつを防いだ。

III. 試験成績及び考察

本試験の播種は9月24~25日である。当時は降雨が多く概して発芽は良好であつた。但し日本品種の種子は収穫後1ヶ月も高温下に貯蔵されていた為か発芽は良好でなかつた。発芽後10月中旬頃まで降雨で生育は順調であつた。10月下旬から1月中旬までは高温暴雨で土壌はかなり乾燥した。特に11月下旬から1月中旬までは半日最高平均気温が35℃を越え、降水量は12月第1半旬の125mmの外は見るべきもなく乾燥は著しかった。

一本立試験区の雌穂の開花は早生である日本品種の12月10日前後から始り引続き他品種に及んだのち花粉の高温障害によると思われるが不稔種及び不稔刈穂が多く見られた。また雌穂の分化過程に於いても乾燥に出会つたと思われ雌穂花房は穂軸の発育が悪く単に苞葉のみ発育している株もあつた。特に *Blanco harinoso* に多く見られた。

雌穂が成熟後は当地の慣行により茎を折り曲げそのまま畑に放置しておき、4月10日収穫調査した。

調査に供試した個体は両区の各区より20株を選定した。その結果は表1表の様である。即ち1株の個体数は大体2~3本であり、その内着穂個体は2個体前後である。

茎長に於いては着穂個体の方が無着穂個体より尚く、2.5m以上の太薈い品種は *Cicarigua V-1*, 及び *T-15-7* であり、香川在来 *Picingallos*, 長交202号等は2m以下で低い。

1株当たりの穂数は *Picingallos* が特に多く、4穂を数へ多くの品種は2~2.5穂となつている。又有穂個体について見ると1個体当り平均着穂数は *Picingallos* が最も多く平均1.7、次いで *Cicarigua V-1* の1.5、その他は大体1穂程度である。

収量である20株当たりの穂量と粒量とは各品種とも大体一致しており標準品種である *Venezuela* 以上のものは *Cicarigua V-1*, *Yellow-Dent corn*, 香川在来, 長交202号であるが特に長交202号は *Venezuela* の2倍近い。

脱粒の難易を見ると、概して日本種が容易である。又圃場の本調査を行ったとき既に穀象虫が発生しており、その多少は種子貯蔵中に於ける害虫被害程度と並行するものと思われるが、この圃場に於ける害虫は *Blanco harinoso*, *Yellow dent corn*, 長交202号に多く見られ、*Picingallos*, *T-15-7* には極めて少なかつた。

本試験に於いては全般的に生育中期に干バツにあつている。品種の早熟性によつて雌穂の分化期及び開花成熟期が異なるので、比喩の生育時期に依ける。

干バツの被害は品種によつて異つていゝと思われる。

従つて本年の調査成績は必ずしも、品種の能力を正しく表現した

そのとは受取り得ない点もある。

この点は更に次年度の試験によつて検討する予定であるが、本年の成績に於いて長交202号は稔数及び1稔重に優れ、その結果、当地区の代表品種である *Venezuela* に比して2倍に近い収量をおげていることは注目に値するものと思われる。

尚長交202号の粒質は粉質に近うのであるが、当地方の主要品種である稔質の *Venezuela* と同様、市場性に富んでいるか否かを調査を受ける。

第 1 表

玉蜀黍品種の生育及び収量並に特性調査成績 1962

品 種	区 別	1. Role (株) 省個体数			茎 長 (m)			20 Role (株) 当			10a 当 粒 重		着 穂 個 体 数	一 穂 重 (g)	穂 長 (cm)	不 稔 粒 多 少	脱 粒 難 易	圃 場 収 量	虫 の 多 少
		有 穂	無 穂	個 体 総 数	有 穂	無 穂	平 均	穂 数	穂 重 (g)	粒 重 (kg)	(kg)	収 比							
Cicariqua V-1	a	1.4	0.1	1.5	3.0	2.0	2.8	51	5.45	4.00	222		1.85	107	16				
	b	2.6	0.2	2.8	2.6	2.3	2.6	52	4.90	3.30	183		1.15	94	14				
	平均	2.0	0.1	2.1	2.8	2.1	2.7	51	5.17	3.65	203	118	1.50	100	15	中	稍 易	少	
Blanca Barinosa	a	1.4	1.5	2.9	2.3	1.9	2.1	30	1.65	1.15	64		1.07	55	18				
	b	1.6	1.4	3.0	2.4	2.2	2.3	35	1.90	1.15	64		1.18	49	19				
	平均	1.5	1.4	2.9	2.3	2.0	2.2	32	1.77	1.15	64	37	1.12	52	18	稍 多	中	多	
Yellow dent com	a	1.9	0.1	2.0	2.2	1.2	2.2	42	5.80	4.50	250		1.15	138	18				
	b	1.7	0.2	1.9	2.2	1.7	2.1	39	4.00	2.70	150		1.18	103	17				
	平均	1.8	0.1	1.9	2.2	1.4	2.1	40	4.90	3.60	200	116	1.17	120	17	少	易	多	
香川 荏 系	a	1.7	0.2	1.9	1.7	1.3	1.6	37	3.80	3.40	189		1.09	103	15				
	b	1.8	0.9	2.7	1.9	1.3	1.7	36	4.00	3.10	172		1.20	111	15				
	平均	1.7	0.5	2.3	1.8	1.3	1.6	36	3.90	3.25	181	105	1.15	107	15	少	易	少	
Cicariqua V-3	a	2.0	1.0	3.1	2.3	2.3	2.3	47	3.40	2.50	139		1.09	72	13				
	b	2.0	0.6	2.6	2.2	2.2	2.2	39	2.60	1.70	94		1.10	67	15				
	平均	2.0	0.8	2.8	2.2	2.2	2.2	43	3.00	2.10	117	168	1.10	69	14	中	中	少	
Picungallos	a	2.4	0.4	2.8	1.8	1.5	1.8	82	3.75	2.75	153		1.74	46	14				
	b	2.6	0.5	3.0	1.8	1.3	1.7	86	3.80	2.80	156		1.66	44	15				
	平均	2.5	0.4	2.9	1.8	1.4	1.7	84	3.77	2.77	154	90	1.70	45	14	中	中	無	
T- IS-7	a	2.0	0.2	2.2	2.5	2.5	2.5	54	4.20	3.00	167		1.35	78	15				
	b	1.9	0.6	2.5	2.9	2.5	2.8	42	3.30	2.70	150		1.13	78	16				
	平均	1.9	0.4	2.3	2.7	2.5	2.6	48	3.75	2.85	158	92	1.24	78	15	稍 少	稍 難	無	
Venezuela	a	2.4	0.1	2.5	2.8	2.3	2.8	48	4.50	3.20	178		1.14	91	16				
	b	2.2	0.2	2.4	2.0	1.6	2.0	52	4.10	3.00	167		1.21	79	17	中	中	少	
	平均	2.3	0.1	2.4	2.4	1.9	2.4	50	4.30	3.10	172	100	1.18	86	16				
長 交 202	a	2.3	0.2	2.4	2.0	1.7	2.0	51	7.80	6.50	361		1.05	153	16				
	b	2.6	0.2	2.7	1.9	1.8	1.9	55	7.25	6.00	333		1.11	132	16				
	平均	2.4	0.2	2.5	1.9	1.7	1.9	53	7.52	6.25	347	195	1.08	143	16	少	易	稍 多	

調查 課

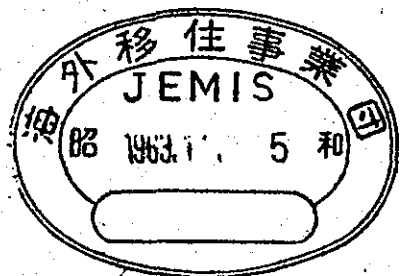
IV-6
11

玉蜀黍適良品種選定予備試驗
成績
(1962)

海外移住事業団

イタカワ地区指導農場

1963 . Sept



玉蜀黍適良品種選定予備試験成績

I. 目的 玉蜀黍は当地区の主要短期作物であり、其の主要品種は flint (かたつぶ) 種の Venezuela である。同種より以上の適良品種を見出そうとするものである。

II. 試験方法

1. 供試品種

品種	取寄先	生産年
(1) Cicarigua V-1	STICA	1961
(2) Cicarigua V-3	"	"
(3) Pisangallos	"	"
(4) Blanco harinoso	"	"
(5) V-1, S-7	"	"
(6) Venezuela	"	"
(7) 在来喬川	日本	"
(8) 長交 202号	"	"
(9) Yellow dent	"	"

2. 1区面積及び区制

0.315a (畦巾 1.5m, 畦長 12m - 3畦) 2区制

3. 耕種概要

- (1) 畦巾、株間
1.5m x 0.7m
- (2) 播種期
9月24 ~ 25日 (1962)
- (3) 中耕除草
10月28日 1回
- (4) 間引其の他収獲
間引きを1回行い1株2~3本とし、又芽かきを行つ

て分けつを防いだ。

III. 試験成績及び考察

本試験の播種は9月24～25日である。当時は降雨が多く概して発芽は良好であつた。但し日本品種の種子は収穫後1ヶ月も高温下に貯蔵されていた爲に発芽は良好でなかつた。発芽後10月中旬頃まで降雨懸念は生背は順調であつた。10月下旬から1月中旬までは尚ほ暴雨で土壌はかなり乾燥した。特に11月下旬から1月中旬までは半旬最高平均気温が35℃を超え、降水量は12月第1半旬の125mmの外は見るとべきものなく乾燥は著しかつた。

一本立試験区の雄株の南花は早生である日本品種の12月10日前後から始り列既き他品種に及んだので花粉の高温障害によると思われるが不稔原因は不稔細胞が多く見られた。また雌穂の分化過程に於いては乾燥に接したと思われ雌雄花房は雄穂の発育が早く葉のみ生育している株もあつた。特に *Blanca harinosa* に多く見られた。

雌穂の成熟度は当地の慣行により、茎を折り曲げそのまま畑に放置しておき、4月10日収穫期産した。

調査に供試した個体は各区の各区より20株と選定した。

その性質は第1表のようである。即ち1株の個体数は大体2～3本であり、その内番雌穂個体は2個体前後である。

調査に於いては番雄個体の方が高番雄個体より高く、2.5個以上の大きい品種は *Cicariqua* V-1, 長交 T-15-7, であり、香川在来、*Picingallo*, 長交202号等は2個以下で低い。

1株当りの雌穂は *Picingallo* が最も多く、4穂を数へ多くの品種は2～2.5穂となつている。又有稔個体について見ると1個体当り平均産粒数は *Picingallo* が最も多く平均1.7、次いで *Cicariqua* V-1の1.5、その他は大抵1穂程度である。

収量である20株当りの雌穂と雄穂とは各品種とも大体一致しており標準品種である *Venezuela* 以上のものは *Cicariqua* V-1, *Yellow-dot corn*, 香川在来, 長交202号であるが特に長交202号は *Venezuela* の2倍近い。

雌穂の性質を見ると、概して日本種が早熟である。又圃場の試調査を行ったとき既に穀象虫が発生しており、その多少は種子時期中に於ける害虫被害程度と並行するものと思われ、この圃場に於ける害虫は *Blanca harinosa*, *yellow-dot corn*, 長交202号に多く見られ、*Picingallo*, T-15-7には極めて少なかつた。

本試験に於いては全般的に生育中期に干ばつにあつてゐる。品種の早熟性によつて雌穂の分化期及び前夏成長期が異なるので、比の生育時期に於ける。

干ばつの被害は品種によつて異つてゐると思われ、

従つて本年の調査成績は必ずしも、品種の能力を正しく表現した

その点は受取り得ない点もある。

この点は更に次年度の試験によって検討する予定であるが、本年の成績に於いて長交202号は稔数及び1穂重に優れ、その結果、当地区の代表品種である *Venezuela* に比して2倍に近い収量をあげていることは注目されるものと思われる。前長交202号の粒質は粉質に近いのであるが、当地方の主要品種である硬質の *Venezuela* と同様、市場性が高んでいるか否かを調査を要する。

第 1 表

玉蜀黍品種の生育及び収量並に特性調査成績 1962

品 種	区 別	1 hole (株) 省個本数			莖 長 (m)			20 hole (株) 当			10a 当 粒 重		着 穂 の 平 均 個 体 数	一 穂 重 (g)	穂 長 (cm)	不 稔 穂 の 多 少	脱 粒 難 易	圃 場 象 象	虫 の 多 少
		有 穂	結 穂	四 本 穂 数	有 穂	結 穂	平 均	穂 数	穂 重 (g)	粒 重 (kg)	收 比								
Cicorigua V-1	a	1.4	0.1	1.5	3.0	2.0	2.8	51	5.45	4.00	222	1.85	107	16					
	b	2.6	0.2	2.8	2.6	2.3	2.6	52	4.90	3.30	183	1.15	94	14					
	平均	2.0	0.1	2.1	2.8	2.1	2.7	51	5.17	3.65	203	1.50	100	15	中	稍易	少		
Blanca Parinosa	a	1.4	1.5	2.9	2.3	1.9	2.1	30	1.65	1.15	64	1.07	55	18					
	b	1.5	1.4	3.0	2.4	2.2	2.3	55	1.90	1.15	64	1.18	49	19					
	平均	1.5	1.4	2.9	2.3	2.0	2.2	32	1.77	1.15	64	1.12	52	18	稍多	中	多		
Yellow dent com	a	1.9	0.1	2.0	2.2	1.7	2.2	42	5.80	4.50	250	1.15	138	18					
	b	1.7	0.2	1.9	2.2	1.7	2.1	39	4.00	2.90	150	1.18	103	17					
	平均	1.8	0.1	1.9	2.2	1.7	2.1	40	4.90	3.60	200	1.17	120	17	少	易	多		
香川 在 菜	a	1.7	0.2	1.9	1.9	1.3	1.6	37	3.80	3.40	189	1.09	103	15					
	b	2.8	0.9	2.7	1.9	1.3	1.7	36	4.00	3.10	172	1.20	111	15					
	平均	1.7	0.5	2.3	1.8	1.3	1.6	36	3.90	3.25	181	1.15	107	15	少	易	少		
Cicorigua V-3	a	2.0	1.0	3.1	2.3	2.3	2.3	47	3.40	2.50	137	1.09	72	13					
	b	2.0	0.6	2.6	2.2	2.2	2.2	39	2.60	1.70	94	1.10	67	15					
	平均	2.0	0.8	2.8	2.2	2.2	2.2	43	3.00	2.10	117	1.10	69	14	中	中	少		
Picungallos	a	2.3	0.4	2.8	1.8	1.5	1.8	82	3.75	2.75	153	1.74	46	14					
	b	2.6	0.5	3.0	1.8	1.3	1.7	86	3.80	2.80	156	1.66	44	15					
	平均	2.5	0.4	2.9	1.8	1.4	1.7	84	3.77	2.77	154	1.70	45	14	中	中	無		
T- IS - 7	a	2.0	0.2	2.2	2.5	2.5	2.5	54	4.20	3.00	165	1.5	78	15					
	b	1.9	0.6	2.5	2.7	2.5	2.8	42	3.30	2.70	150	1.13	78	16					
	平均	1.9	0.4	2.3	2.7	2.5	2.6	48	3.75	2.85	158	1.24	78	15	稍少	稍難	無		
Venezuela	a	2.4	0.1	2.5	2.8	2.3	2.8	48	4.50	3.20	178	1.14	94	16					
	b	2.2	0.2	2.4	2.0	1.6	2.0	52	4.10	3.00	167	1.21	79	17	中	中	少		
	平均	2.3	0.1	2.4	2.4	1.9	2.4	50	4.30	3.10	172	1.18	86	16					
長 交 202	a	2.2	0.2	2.4	2.0	1.7	2.0	51	7.80	6.50	361	1.05	153	14					
	b	2.6	0.2	2.7	1.9	1.8	1.9	55	7.25	6.00	333	1.11	132	16					
	平均	2.4	0.2	2.5	1.9	1.7	1.9	53	7.52	6.25	347	1.08	143	16	少	易	稍多		

